図－6　2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、合計1，173箇所について超音波検査（肉厚測定）を実施した。

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	未点検部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,599	0	444
その他部位	1,989	0	729
合　計	3,588	0	1,173

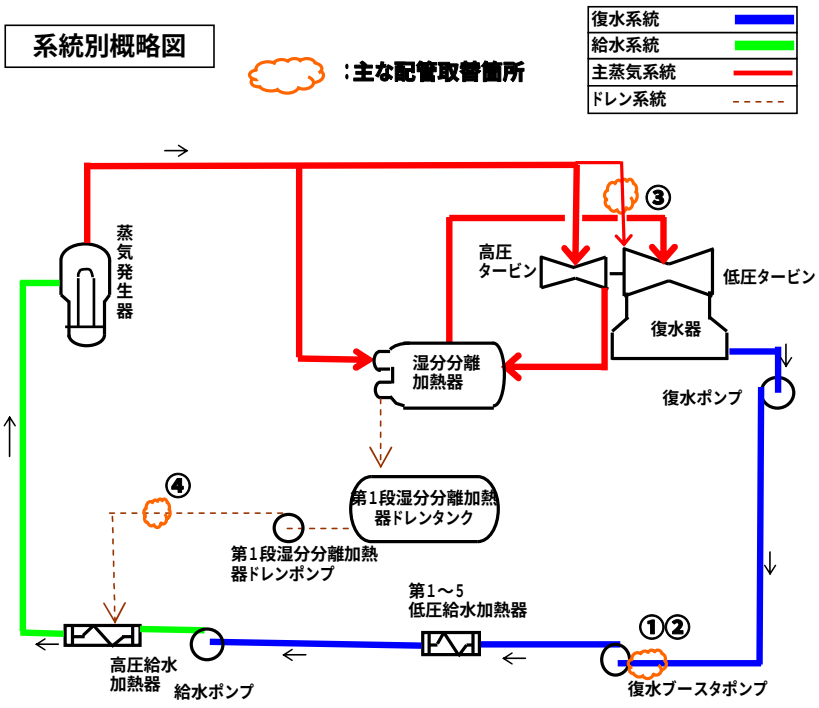
（結果）

○必要最小厚さを下回ると評価された箇所は無かったものの、次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があると評価された箇所が1箇所確認された。
当該箇所については、耐食性に優れたステンレス鋼の配管に取り替えた。

取替概要

○ 今定期検査開始時には174箇所の配管取替を計画していましたが、次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があると評価された1箇所、配管取替えの作業性や今後の保守性を考慮した8箇所を追加し、合計183箇所の配管を炭素鋼から耐食性に優れたステンレス鋼又は低合金鋼に取り替えた。

系統別概略図



［取替理由］

①余寿命10年未満で減肉が確認されたため取替えた。（10箇所）
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　10箇所

②配管取替えの作業性を考慮して取り替えた。（13箇所）
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　13箇所
（3箇所追加）

③配管の保守性を考慮して取り替えた。（159箇所）
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　100箇所
炭素鋼 ⇒ 低合金鋼　59箇所
（5箇所追加）

④次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があると評価されたため取り替えた。（1箇所）
炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　1箇所
（1箇所追加）

（合計　183箇所）

（参考）
保安院の指示文書(平成19年11月)で示された方法による余寿命評価結果を踏まえ、今定期検査において、39箇所を肉厚測定し、必要最小厚さを下回る箇所および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があると評価された箇所はなかった。
注：39箇所の肉厚測定は1，173箇所の肉厚測定に含まれる。